「ウィキッド」は、アメリカのブロードウェイミュージカルで、グレゴリー・マグワイアの小説「ウィキッド: グリンダとエルファバの物語」を基にしています。この作品は、オズの魔法使いの物語を新たな視点から描いており、特にエルファバとグリンダの友情と対立を中心に展開します。

このミュージカルは、音楽、歌詞、演技、舞台美術のすべてにおいて高い評価を受けています。スティーヴン・シュワルツによる楽曲は、感情豊かで力強く、特に「Defying Gravity」は多くの観客に感動を与えています。この曲は、エルファバが自分の運命を受け入れ、自由を求める姿を象徴しており、聴く者に強いメッセージを伝えます。

また、舞台美術や衣装も非常に印象的で、オズの世界観を見事に再現しています。色鮮やかなセットや幻想的な衣装は、観客を物語の中に引き込み、視覚的な楽しさを提供します。特に、エルファバの緑色の肌や、グリンダの華やかなドレスは、キャラクターの個性を際立たせています。

ストーリー自体も深いテーマを持っており、友情、差別、自己受容といった重要なメッセージが込められています。エルファバは、社会からの偏見や誤解に苦しみながらも、自分自身を貫く姿勢が描かれており、多くの人々に共感を呼び起こします。グリンダとの関係も、友情と競争の複雑さを表現しており、観客に考えさせる要素を提供しています。

「ウィキッド」は、ただのエンターテインメントにとどまらず、観客に深い感動と考察を促す作品です。多くの人々がこのミュージカルを観ることで、自己のアイデンティティや社会の在り方について考えるきっかけを得ることができるでしょう。全体として、「ウィキッド」は、音楽、ストーリー、ビジュアルのすべてにおいて素晴らしい体験を提供する、現代の名作と言えるでしょう。